

製品安全データシート

1. 製品等及び会社情報

1.1 製品の特定

製品名：メガシャイン
 製品分類：化学床タイルの保護仕上げワックス
 主な用途：屋内化学床用

1.2 会社情報

会社名：横浜油脂工業株式会社
 住所：〒220-0074 横浜市西区南浅間町1-1
 担当部門：技術開発部 担当者：桐生悦宏
 電話番号：045-311-4701 FAX番号：045-316-6451
 緊急連絡先：総務部 連絡電話番号：045-311-4704
 作成者：桐生悦宏
 制定日：2007年6月22日

2. 組成・成分情報

単一製品・混合物の区別：混合物

含有成分及び含有量

成分名・化学名	含有度Wt%	CAS No.	化審法No.	安衛法No.	PRTR法No.
金属架橋型アクリルスチレンコポリマー	10~20	非公開	非公開	—	—
アルカリ可溶性樹脂	1~5	非公開	非公開	—	—
ポリオレフィンワックス	1~5	非公開	非公開	—	—
可塑剤	1~5	非公開	非公開	—	—
グリコール系溶剤	1~10	非公開	非公開	—	—
1-(2-メトキシ-2-メチルエトキシ)-2-プロパノール	1~5	34590-94-8	(2)-426	601	—
界面活性剤(陰イオン系、非イオン系)	0.1~1	非公開	非公開	—	—
防腐剤	若干量	非公開	非公開	—	—
消泡剤	若干量	非公開	非公開	—	—
水	30~40	非公開	非公開	—	—

化審法：化学審査法官報告示整理番号

安衛法：労働安全衛生法 第57条の2 第1項 政令指定物質の政令番号

PRTR法：化学物質管理促進法官報告示整理番号

—： 該当しない

3. 危険有害性の要約

最も重要な危険有害性及び影響

人体への影響： 吸入飲用不可。人体に害がありますので、吸入したり飲んだりしないでください。

目への接触・・・・・・・・ 障害を生じる可能性が有る。目に入らないよう十分に注意してください。

皮膚への接触・・・・・・・・ 長時間使用すると炎症を生じる可能性が有る。皮膚を傷める恐れがありますので、保護手袋を必ず着用してください。

誤飲の場合・・・・・・・・ 急性毒性有り。誤飲には十分に注意してください。

吸入の場合・・・・・・・・ 頭痛を起こすことがある。吸入には十分に注意してください。

環境への影響： 現在のところ有用な情報なし

物理的及び ； 消防法：非危険物
化学的危険有害性

4. 応急処置

目に入った場合： 誤って目に入った場合は、こすらずすぐに15分間以上流水でまぶたの裏まで洗眼する。異常がある場合は、本品持参の上、医師の診断を受ける。コンタクトレンズを着用の場合は、固着していないかぎり、取り除いて洗眼し続け、すみやかに医師の診断を受ける。

皮膚に付着した場合： 誤って皮膚に付着した場合は、直ちに多量の水で15分間以上洗い流す。異常がある場合は、医師の診断を受ける。（衣服にかかってしみ込んだ場合は直ちに脱衣し、同様の処置を行う）

飲み込んだ場合： 誤って飲み込んだ場合は、直ちに口をすすぎ、できるだけ多量の水または牛乳を飲ませるなどの処置をし、無理に吐き出させないで、本品持参の上、医師の診断を受ける。ただし、被災者に意識がない場合は、口からなにも与えない。

吸入した場合： 直ちに空気の新鮮な場所に移り、保温とともに安静にすること。呼吸が困難な場合、ネクタイ・ベルト・ウエストバンド等の衣類の締め付けを緩めて、マウス・マウス人工呼吸を行なうこと。気分が回復しない場合には、直ちに医師の診断を受けること。

5. 火災時の措置

製品自体に引火性なし

6. 漏出時の措置

漏出付近から着火源や可燃性のものを速やかに取り除く。

少量の場合：必要に応じて保護衣を着用し、おがくず、土砂、ウエス、紙等を用いて吸着させて、空容器等に回収する。その後、漏出区域周辺を多量の水で洗い流す。洗浄した水等は、地面や排水溝等にそのまま流さない。

大量の場合：保護衣を着用し、土のう等で流出を防ぎ、ポンプ・杓子等で空容器に回収する。風上にて作業を行う。

河川や一般排水溝などに排出しないように注意する。

廃棄物は関連法令に基づいて処理する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い上の注意：

- ① 周辺での火気、スパーク、高温物の使用は避ける。
- ② 火気は近づけない。
- ③ 換気の良いところで使用し、容器は使用ごとに密栓する。
- ④ 蒸気及びミストを吸い込まない。
- ⑤ 多量に使用する場合、長時間使用する場合は、皮膚、目、顔を保護する適切な保護具（保護手袋、保護前掛け、保護マスク、ゴーグル等）を着用する。
- ⑥ 取り扱い後は手洗い、うがい、洗顔を十分に行う。作業衣等に付着した場合は着替える。

保管上の注意：

- ① 周辺での火気、スパーク、高温物と接触する場所は避ける。
 - ② 容器は密栓し、直射日光の当たる場所・40度以上になる所、水回りや湿度の高い所、凍結の恐れのある所を避け、風通しの良い冷暗所で保管する。
 - ③ 類の異なる危険物と同一の場所に貯蔵しない。
 - ④ 横に倒したり、逆さまにして保管しない。
-

8. 暴露防止及び保護措置

管理濃度： 設定されていない。

許容濃度： 設定されていない。

設備対策： 取扱いは換気の良い所で行う。
関連法令に基づいた設備とする。

保護具： 目の保護具 必要に応じて保護眼鏡を使用する。
呼吸保護具 必要に応じて有機ガス用マスクを使用する。
皮膚の保護具 必要に応じて保護手袋、保護前掛けを使用する。
その他 特に必要としない。

1 4. 輸送上の注意

取り扱い及び保管上の注意の項の一般注意に従う。

陸上輸送：漏れが無いことを確認し転倒、落下、損傷がないように積み込み荷崩れの防止を行う。

海上輸送：船舶安全法の定めに従う。

航空輸送：航空安全法の定めに従う。

1 5. 適用法令

毒物及び劇物取締法：該当しない。

消防法：非危険物

労働安全衛生法

危険物（引火性液体）：該当しない。

第57条の2 通知対象物質：該当する。

有機機則：該当しない。

化学物質管理促進法（PRTR）：該当しない。

1 6. その他の情報（引用文献等）

シックハウス・シックスクールに配慮

シックハウスの原因としてあげられた厚生労働省指針値該当物質（13物質）については、これらを原料として使用していません。

引用文献

労働安全衛生法MSDS対象物質全データ

化学工業日報社

*注意

製品安全データシートは、危険有害な化学製品について、安全な取り扱いを確保するための参考情報として、取り扱う事業者提供されるものです。

取り扱う事業者は、これを参考として、自らの責任において、個々の取り扱いなどの実態に応じた適切な処置を講ずることが必要であることを理解した上で、活用されるようお願いいたします。

従って、本データシートそのものは、安全の保証書ではありません。